

# BSIJ & RICS ジョイントシンポジウム

## BIMが未来を切り開く

BIMは、建築物を3次元情報だけではなくライフサイクル全般にわたる様々な情報を含め記述します。したがってBIMの発展は、建設プロセスの革新あるいは企業組織や各専門分野の役割分担をも変革する可能性を秘めています。また、発注者や建物管理者にとっても非常に大きなメリットをもたらすと考えられています。

本シンポジウムは、BIM活用を積極的に推進している英国からRICSのアラン・ミューズ氏をお迎えし、グローバルマーケットにおけるBIMの現況と将来についてお話しいたします。また、わが国におけるBIMの状況について、先端的な活動を展開されている専門家よりいくつかの視点でご紹介させていただきます。

**開催日** 2015年1月27日(火)

13:45~18:00

**会場** 世界貿易センタービル

38階 フォンテーヌ

東京都港区浜松町2-4-1  
03-3435-3801

**共催** BSIJ 公益社団法人 日本建築積算協会  
RICS 英国王立チャータード・サバイヤーズ協会

**後援 (予定)** 国土交通省 (一社)海外建設協会 (一社)IAI日本  
(公社)日本建築士会連合会 (公社)日本建築家協会

(一社)日本建築士事務所協会連合会  
(一社)日本コンストラクション・マネジメント協会  
(一社)日本建築構造技術者協会 (一社)建築設備技術者協会  
(一社)日本設備設計事務所協会  
(公社)日本ファシリティマネジメント協会  
NPO法人 日本不動産カウンセラー協会

**定員 120名(先着順)**

### 受講料 (税込)

一般 12,000 円  
建築コスト管理士/建築積算士/  
建築積算士補 10,000 円  
後援団体及び友好団体会員 10,000 円  
BSIJ 及び RICS 会員 9,000 円

### プログラム

### 同時通訳付き

13:45	開会挨拶	野呂幸一(BSIJ 会長)
13:50	BIMはどのように発展してきたか、またなぜ重要なのか	アラン・ミューズ(RICS)
14:20	日本におけるBIMの現状と今後の課題	山下純一(IAI日本)
14:45	ゼネコンにおけるBIM活用の狙い	大越 潤(大成建設)
15:10	コストマネジメントツールとしてのBIM	生島宣幸(日積サーベイ)
15:35	休憩	
15:50	グローバル世界におけるBIM、そしてその未来	アラン・ミューズ(RICS)
16:20	パネルディスカッション: BIM発展へのソリューションを考える	
		モデレーター:アラン・ミューズ
		パネラー:山下純一、大越 潤、生島宣幸
17:40	質疑応答	
18:00	閉会	

**申込方法** 日本建築積算協会のホームページ <http://www.bsij.or.jp>

または、下記お問い合わせ先まで郵送、FAXにてお願いします。

**お問い合わせ先** 公益社団法人日本建築積算協会 事務局(担当 塚原、田中)

〒105-0014 東京都港区芝3丁目16番12号 サンライズ三田ビル 電話 03-3453-9591 FAX 03-3453-9597

**CPD** 当シンポジウムは、以下のCPDポイント対象となっています。(団体名は略称)  
積算協会、RICS、建築士会、CM協会、CPD情報提供制度

## 講演者プロフィール



アラン・ミューズ 氏  
RICS  
建造環境プロフェッショナルグループ  
ディレクター

グローバルベースの建造環境プロフェッショナルの責任者として、30年以上の建築経験があり、ディレクターとしての経験も15年となる。40億ポンドにもおよぶプロジェクトおよびコストマネジメントの専門家として活躍。

プロジェクトはすべてのセクターをカバーしており、中でもオフィス、物流・工場およびその混合施設、都市再開発、データセンター、学校、鉄道、道路のインフラなどの公共セクターのスキームにかかわっている。

RICSでBIM分野を主導し、英国政府が策定したBIM導入戦略の成功に積極的な役割を果たしてきた。また、RICS国際BIMワーキンググループの議長として、最近「国際シヨナルBIM導入ガイド」および「5D BIMケーススタディ」を上梓している。



山下純一 氏  
(一社)IAI 日本 代表理事  
(株)CIラボ 代表取締役

1965～1998 (株)藤田組(現(株)フジタ)入社 情報システム部長

1998～2004 (株)フジタビジネスシステム 代表取締役社長

2004～現在 (株)CIラボ 代表取締役社長 一般社団法人 IAI 日本 代表理事  
一級建築士、特種情報処理技術者

(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)社会基盤情報標準化委員会幹事・委員  
UN/CEFACT Forum TBG6 副議長

(一財)建設業振興基金 CI-NET(建設産業における電子商取引)政策委員

生産設計情報化評議会(C-CADEC) 運営委員長 (NPO) 設備システム研究会理事



大越 潤 氏  
大成建設(株)  
設計本部 構造計画部  
構造計画室  
シニア・エンジニア

2000～ 大成建設(株) 入社 建築本部積算部などで構造積算業務・自動積算システムの開発など

2005～2006 TASPlan 社(フィリピン子会社) 積算部門構造マネージャーとして、  
マネジメント・ローカルスタッフの教育など

2007～現在 設計本部構造計画部 構造設計・BIM運用・BIM環境整備など  
建築コスト管理士、MRICS(Chartered QS)、一級建築士、一級建築施工管理技士



生島宣幸 氏  
(株)日積サーベイ  
代表取締役

1978 (株)日積工務(現(株)日積サーベイ) 入社

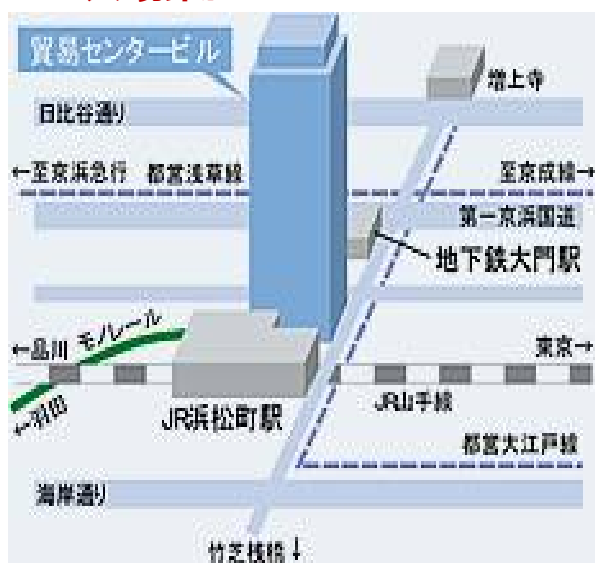
1999～現在 (株)日積サーベイ 代表取締役

(公社)日本建築積算協会 理事

(一社)日本コンストラクション・マネジメント協会 関西支部 監査

建築コスト管理士、MRICS(Chartered QS)、CCMJ

## 会場案内



一般社団法人IAI日本 (building SMART Japan Chapter)

IAI(International Alliance for Interoperability)は、1995年米国で設立され1996年イギリス支部と同時に日本支部も設立されました。5年ほど前から海外では building SMART と称するようになりました。

IAIは、建物のライフサイクルを通じて様々なソフトウェアの相互利用を可能にする標準化を進めるための活動を行っています。現在、世界各地に15の支部が設置され、BIMの標準化を推進する国際組織となっています。わが国においては、建設会社・設計事務所・システム開発企業あるいは研究機関といった多様な分野の120会員が参加しています。

BIMにおいて、建物を構成するすべてのオブジェクトの体系的な表現をIFC(Industry Foundation Classes)と呼ばれる統一仕様で定義し、様々なアプリケーションにおけるデータの共有化と活用を推進しています。このIFCは、2013年3月にISO16739-2013となりました。

JR(山手線・京浜東北線)東京モルレル浜松町駅と直結 都営地下鉄(浅草線・大江戸線)大門駅と直結(B3出口)  
最寄の首都高速道路出入口 環状線 芝公園ランプ または 汐留ランプ 東京高速道路線 新橋ランプ